



■ 「ディヴェルシテ diversité」と「コンコルド concorde」－2学期始業式にて－

※始業式当日は写真を示しながら講話を行いました。本稿には掲載していません。

皆さんおはようございます。この夏も猛暑・酷暑の日々が続きましたが、心身とも健康に過ごせましたか？県内外で事故等のニュースが報じられますが、人の命は何よりも重く尊いものです。少しでも心が弱くなったなあと感じたら誰かに話してみてください。きっと親身になって話を聞いてくれますよ。

夏の甲子園では、大社高校が93年ぶりのベスト8進出を果たし全国に旋風を巻き起こしました。同じ島根県の公立高校生の活躍は、島根県に暮らす私たちにも自信と勇気を与えてくれました。この夏は地域の方々とお話をする機会が多くありました。「掛高生が地域の行事に参加してくれて地域に元気が出た」「町ですれ違う時明るく挨拶をしてくれる」など皆さんへの感謝を伝える言葉を数多くいただきました。皆さん一人一人も地域に元気を与えてくれる、大事な存在なんだと改めて感じました。

7月から8月にかけてはパリオリンピックが開催されました。多くの競技に参加している日本選手の活躍に一喜一憂しながら応援し、寝不足の日が続いた人もいるでしょう。そのパリオリンピックでは「多様性」や「調和」といったテーマが設定してありました。フランス語で言うところの「ディヴェルシテ diversité」「コンコルド concorde」です。コンコルドは開会式の際に登場した広場の名前でもありますね。このコンコルド広場は、マリー・アントワネットやルイ16世が処刑された広場としても有名です。

多様性
diversité
(ディヴェルシテ)

調和
concorde
(コンコルド)

ところで、この写真はパリオリンピックに出場したフランスチームのメンバーです。一方こちらはスペインチームのメンバーです。何か気づくことはありますか？じゃあ隣同士で意見交換を、と授業ならそうなるところかもですが(笑)。どうですか？・・・そうですね。フランスは様々な人種・民族によりメンバー構成がなされています。フランスは移民も多く、多民族国家となっています。「多様性」や「調和」を重視する背景がそこにあります。開会式にも登場したフランスの元サッカー選手ジダンさんもアルジェリア系移民の子孫です。ちなみに日本チームのメンバーはこちらです。これからの社会では、外国籍の方と一緒に活動したり、仕事をしたりする機会も増えてくることでしょう。国際化が進んでいくことで、物事に対する認識の度合いに差が出てくることも予想されます。日本国内で行われる漢字で書く「柔道」と国際大会で行われるアルファベットで書く「JUDO」とは競技に対する認識が微妙に異なっていると感じますよね。

対話をとおして“わかりあえる”点と“わかりあえない”点を確認した上で、妥協点を見出しながらより高い次元に引き上げていく、それが目指すべき理想の姿といえます。喜び方や悔しがり方にだって、多様性が認められていいのかもしれない。

「多様性」と「調和」は、これからのボーダーレス社会を生きていく私たち全てにとって考えていくべきテーマといえます。自分を表現できるものは何か？自分のストロングポイントは何か？をじっくり考えながら高校生活を過ごしてください。どうか狭い世界に縮こまらず、若いうちに多くの価値観と出会い、広い視野を持って自分の人生に向き合ってください。

最後に、この飛行機を知っていますか？超音速旅客機コンコルドです。そう「調和」を意味するあのコンコルドです。フランスとイギリスが共同で開発し、1976年に運用が開始されニューヨーク・ロンドン間が5時間かかるところを3時間弱で飛ぶという、まさに超音速・マッハ2の速度を記録した飛行機です。ただ、燃費の悪さや定員の少なさから採算が合わず、墜落事故の発生もあり2003年に営業飛行を終了しました。実は開発当初から、採算が合わないことを開発者たちは知っていました。それでも、せっかくここまで来たんだからと開発をやめることができませんでした。これは「コンコルド効果」または「コンコルドの過ち」と表現され、経済学や心理学の分野でも用いられる言葉となっています。どこまでやってみるのがいいのか、どこでやめるのがいいのか。物事の判断は難しいですが、時に思い切ってやり方を変えてみるというのもありかもしれませんね。

2学期も多くの行事が予定されています。体調管理に気をつけて充実した毎日を過ごしましょう。以上で終わります。